



N.S. ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1161

15.06.2025 (136)

戦争中のヒトラー 何が起こったのか？

A.V.シャーフェンベルク著

パート8

第7章

北方征服

「兄弟は戦い、殺し合い、人は不幸を知るだろう。斧の時代、剣の時代、盾の時代、風の時代、狼の時代、世界が破滅する前に」。

北欧のシビルの幻視（西暦800年頃）

10月初旬にポーランド国家が消滅したことで、西側連合国は突然、意味を失った宣戦布告書を手にする事になった。宣戦布告の目的はポーランドを救出することだったが、ポーランドを取り戻すチャンスは永遠に失われてしまった。実際、ポーランドを「解放する」という話はすべて立ち消えになっていた。ポーランド人の半分はロシアに占領されており、フラン

スとイギリスは敵対することを許さなかったからだ。ロンドンとパリには、優柔不断と不確実性の倦怠感が漂っていた。そして、東方であれほど劇的なスタートを切った戦争は、その後6ヶ月間、事実上不活発に停滞した。

しかしその間、総統は決めかねていたわけでも、迷っていたわけでもなかった。あらゆる外交ルートを通じて、ポーランドから撤退し（ドイツの都市ダンツィヒを除く）、すべての敵対行為を停止すると、フランスとイギリスの当局に繰り返し通告した。このような和平の申し出に対し、連合国は耳を貸さなかった。そこでヒトラーは西方への攻勢を準備した。それは、できるだけ早く戦闘を終結させるために、電撃戦のような迅速さで実行されなければならなかった。ポーランドと同様、ヒトラーは時間が不利に働くことを知っていた。ドイツには長期戦に必要な原材料のストックがなかった。彼は、第一次世界大戦中に国内戦線が負わなければならなかった極度の窮乏を覚えていた。彼は、塹壕の最前線にいたベテラン兵士として、この戦争でも先の戦争と同様に、静的な消耗戦が敗北を意味することを意識していた。

当初の作戦開始日は1940年1月17日だった。しかし、ドイツ軍の作戦開始まであと1週間というところで、その詳細は連合軍の手に渡ってしまった。ドイツ空軍の少佐が命令に背き、攻撃に関する極秘資料を小型機に搭載したところ、そのパイロットが悪天候で道に迷い、ベルギーに着陸してしまったのだ。ヒトラーは将軍たちにまったく別の作戦を思いつくよう求めた。数週間後、ヒトラーは将軍たちがドイツの西壁（ジークフリートライン）とフランスのマジノ線との塹壕戦による第一次世界大戦の再現を提案していることを知り、愕然とした。「諸君、これは1940年であって1914年ではないのだ！」と彼は憤慨した。西方での“稲妻戦争”の構想を練っていたとき、彼は偶然にも、エーリッヒ・フォン・マンシュタイン将軍が総統の知らない間に、そのような攻撃計画をすでに練っていたことを知った。

コブレンツの陸軍集団「A」本部の参謀長でありながら、マンシュタインは後景に追いやられ、シュテッティンに創設された第三十八軍団という無名の司令部に移され、そこで事実上沈黙した。アルデンヌ地方は戦車やその他ほとんどの自動車が通れないと考えられていた地域であったが、彼の考えた機動部隊を含むダイナミックな前進作戦は、第一次世界大戦の静的な塹壕戦の戦略にどっぷり浸かっていた上官に「邪魔者を排除する」と

言わしめた。参謀本部が時代遅れの戦術に絶望的なまでに固執していることに気づいていたヒトラーは（しかし、参謀本部のメンバーがヒトラーに対して反逆罪を犯していることにはまだ気づいていなかった）、2月17日にフォン・マンシュタインと密会した。「フォン・マンシュタインは驚くべき速さで、「彼は陸軍集団が何カ月も守ってきた観点を把握した。彼は私の考えを全面的に承認した。二人は一緒に、5月初旬に予定されていた新しい攻勢のあらゆる点を検討した。二人が提案した戦略は驚くほど似ていたが、必ずしも相容れるものではなかった：総統の全体像の詳細は、フォン・マンシュタインが補った。

ドイツはポーランドに対して決定的な優位を保っていたが、オランダ、フランス、イギリスの連合軍には劣勢だった。ドイツ軍の106個師団に対し、フランス軍は110個師団。イギリス遠征軍、ベルギー軍、オランダ軍を合わせると、ヒトラーの地上部隊は明らかに数的不利にあった。さらに、国防軍は連合軍の装備の多くと技術的に互角かそれ以上であった。例えば、75ミリ榴弾砲を搭載した32トンのフランスのシャル・ド・マヌーヴルB1 bisは世界最高の戦車であり、イネスが「開戦のかなり後までドイツパンツァー部隊の後ろ盾であった」(43)と評するPzkw IIの2センチ砲をはるかに凌駕していた。Pzkw IIは、実際には、より良いものがなかったために投入された訓練用戦車であった。ドイツ国防軍の機甲師団は、Pzkw IIのような技術的に不十分な戦車で手薄だったため、1938年の危機の後にチェコ軍から接收した、時代遅れとはいえ少数のTNHP戦車に大きく依存していた。同様に優れていたのは、フランスの高速（時速25マイル）ソミュア S-35中戦車であった。

フランス空軍は、双発攻撃機ポテズや、特にデウオワティン520、ブロッホ151、モラン・ソルニエ406といった優れた戦闘機など、しばしば1,300機もの素晴らしい航空機を誇っていた。小さなオランダ空軍でさえ、ツインブームのフォッカーG-Iを含む最新鋭機を飛ばしていた。こうしたことから、フランスの航空大臣ギィ・ラ・シャンブルは、ドイツ空軍は容易に撃破できると確信した。参謀総長のモーリス・ガメラン将軍も、ドイツ軍の劣勢な装甲の5個師団に対して、自軍の7個機動師団を比較したとき、自信に満ちていた。

ヒトラーがフォン・マンシュタインと会談し、西側諸国に対する新たな攻撃計画をまとめる前日、イギリスの駆逐艦コサックがノルウェーのヨッ

シング・フィヨルドに侵入し、非武装のドイツ軍捕虜船アルトマルク号を攻撃したため、5月の予定が危うくなった。ノルウェーはこの卑怯な主権侵害を無視したが、ヒトラーはスカンジナビアにおける連合軍の意図を察知した。アルトマルク号からの数人の捕虜の救出は、コサックの偽装工作とはいえ、気にするほどのことではなかった。本当に重要だったのは、オスロが明らかにしたイギリスとの共謀だった。

早くも1939年12月のドイツ軍会議では、海軍情報将校が状況報告の中で、ユダヤ人政治家がすでにノルウェーの中立を侵して国際法を破っていたことを明らかにした：「現ノルウェー政府は、ノルウェーがいずれかの大国との戦争に巻き込まれた場合、ノルウェーの同意を得て、イギリスによる侵攻を行うことができるという内容の秘密条約をイギリスと結んでいる。上陸作戦はスタヴァンゲル近郊で計画されており、クリスチャンサンが英国の基地となる可能性が提案されている。現在のノルウェー政府、ストーティング（議会）、外交政策全体を支配しているのは、有名なユダヤ人ハンブロ（カール・ヨアヒム・ハンブロ、通称「ハンブルガー」）である。しばらくの間、ノルウェー国民のシンパシーは意識的に親英・反独の方向へと向かっており、ノルウェーの全マスコミはイギリスの支配下にある。ハンブロはその地位を悪用し、多数のイギリス人諜報員の助けを借りて、ノルウェーをイギリスの影響下に置くか、完全に依存させようとしている」。

チャーチルのノルウェー占領計画は、すでにイギリス海軍に採用されており、翌月には侵攻準備を完了させていた。危険は大きかった。連合軍がノルウェーを占領すれば、その飛行機と艦船はすぐに帝国を攻撃できる範囲に入り、その産業生命線は断たれる。ガエリヴァーレから陸路でわずか133マイルしか離れていないナルヴィクに敵がいれば、ドイツの1500万トンの鉄鉱石のうち1100万トンが失われる。ガエリヴァーレはスウェーデンで最も重要な鉱山団地だった。

ヒトラーは知らなかったが、イギリス海軍はフランスと結託して中立国ノルウェー海域の採掘を4月8日に予定していた。ヒトラーはその翌日に反侵攻を開始する命令を下した。数年後、総統はヴァルター・ヒューエル大使に、ウィンストン・チャーチルがフランスのプルミエール、ポール・レヨーに、イギリスが先にノルウェーを占領するつもりだと伝えたのをドイツの迎撃局が聞き逃したならば、ノルウェーに侵攻することはなかっただろうと語った。こうして警戒を強めたヒトラーは、直ちに北上攻撃を開始

した。英駆逐艦グローワームが重巡洋艦ヒッパー提督に衝突し、艦首に120フィートの傷を負わせた後、ヒッパー提督によって撃沈されたのだ。

侵攻は、ドイツ空軍のパラシュート部隊がスタヴァンゲル飛行場を占領し、ドイツ軍がオスロ（「空から降下してきた軍隊に陥落させられた史上初の大都市」Grunwald, 50）、クリスチャンサン、ベルゲン、トロンハイム、そして重要なナルヴィクに海上から上陸するというものであった。ノルウェーの陸上砲台は、ドイツ海軍のブルーチャーが兵員を上陸させる前にこれを撃沈し、新鋭重巡洋艦に魚雷を浴びせて転覆させ、1000人以上の兵員を溺死させた。一方、イギリスの潜水艦HMSトゥルアントは、軽巡洋艦カールスルーエを魚雷で撃沈した。翌日、6隻のイギリス駆逐艦が10隻のドイツ駆逐艦を奇襲。激しい砲撃戦が繰り広げられ、双方とも2隻を失った。

4月12日、イギリス海軍はエドゥアルド・ディートル少将率いるドイツ国防軍兵士の小部隊が掌握していたナルヴィクに大挙して現れ、山岳第3師団（Gebirgsjaeger）の2,000人が連合軍25,000人を食い止めようとしていた。フランス軍とイギリス軍による大規模な上陸作戦は、ナルヴィク、ナムソス、アンダレスネスの対岸にあるロフォーテン諸島のハルスタッドですすでに行われていた。その2日前、イギリス海軍の駆逐艦が港に侵入し、ディートルの弾薬補給貨物船を含むすべてのドイツ船を沈没させるか大破させた。

その3日後、強大な英国戦艦ウォースパイトは、多数の戦艦の船団に支援され、7隻の駆逐艦とともに、残存する敵艦をすべて撃沈したが、自らに大きな損害はなかった。それまでにドイツ軍は、3隻の巡洋艦と9隻の駆逐艦、そしてさらに2隻の巡洋艦ともう1隻の駆逐艦が大損害を受けたのを含む12人の商人を失った。ドイツ国防軍のノルウェー侵攻作戦の呼称であるヴェーザーエビング作戦は大失敗に向かうと思われたが、ディートルのゲビルグスヘーガーは北極圏で数で圧倒する敵を相手に、補給物資もなく完全に孤立無援となった。フランスとイギリスが殺しにかかってくる中、ディートルはドイツ空軍に無線で救援を要請した。それは、パラシュート降下のリレーを飛ぶJu-52の空輸ですぐにやってきた。間もなく、食糧や弾薬、さらには空挺部隊の援軍までもが、包囲された守備隊に降り注いだ。またしても、国家社会主義者の革新と勇気が、絶望的な状況を覆したのである。

復讐の瞬間がやってきたのだ。ナルヴィクに補給しようとしたドイツ艦船を消し去ったイギリス軍艦にとって、メーデーはまさにその日だった。シュトゥーカ急降下爆撃機と新型ユンカースJu-88中型爆撃機の部隊は、連合国のノルウェーにおける主要港であるハルスタッド上空に現れた。彼らは巨大な港湾施設を破壊し尽くした。ワルキューレのように空から叫び声を上げながら、第五空軍の戦闘機は重巡洋艦HMSカーリユーと駆逐艦、兵員輸送艦を撃沈した。戦艦HMSレゾリューションとさらに2隻の巡洋艦は、この戦争で最も効果的な対空砲のひとつである致命的なポフォース・ポンポン砲を装備していたにもかかわらず、大損害を受けて英国に逃亡した。しかし、これは始まりに過ぎなかった。シュトゥーカとJu 88は、数を集めてノルウェー海域にいるすべての連合軍戦艦を撃沈、あるいは航行不能にした。RAFとフランスの戦闘機が急遽、迎撃に派遣されたが、メッサーシュミット109に撃退された。

5月28日、ディートルと彼の守備隊が近隣の山地に撤退したため、英仏軍は最後の力を振り絞ってナルヴィクを占領した。しかし、その代償はあまりにも大きく、フランスの陥落が間近に迫っていたため、連合軍は占領とほぼ同時にナルヴィクを放棄せざるを得なかった。

そして、誰もが驚いたことに、イギリス軍は他の連合軍司令官に通告することなく、突然ノルウェー南部を撤退させ、茫然自失となったノルウェー軍とフランス軍の仲間を、ねじ曲がり、くすぶり続ける戦利品が散乱する海岸に置き去りにした。ブリタニアが同盟国を見捨てたのは、これが最後ではなかった。また、ブリタニア軍が海に突き落とされたのもこれが最後ではなかった。ドイツ軍は航空戦以外では劣勢に立たされ、ノルウェーを占領しようとしたブリタニアに、現代で最も苦戦した、華麗で革新的な軍事作戦のひとつで勝利したのだ。

国家社会主義者の勝利は広範囲に及んだ。北ドイツを攻撃しようとするイギリスの計画を挫折させ、スウェーデンから帝国の重要な鉄鉱石の供給を確保しただけでなく、ドイツ海軍とドイツ空軍に、連合国の海運に対して作戦を展開するための前例のないほど重要な拠点を与えたからである。ヒトラーのノルウェー作戦は、イデオロギーに鼓舞された決然とした戦士の集団は、数的不利があろうとも、やる気のない圧倒的な敵にも打ち勝つことができることを証明した。



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRUCH DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

September 1944 September 1973 26. April 2017 (100)

Der Kampf geht weiter !

Seitlang haben sich die Kapitalisten der Weltmacht am 8. Mai 1945 an der nationalsozialistischen Bewegung nicht als zu spüren an der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Kolonialisierung, Unterdrückung, Verdrängung und Verdrängung haben nicht aufgehört, die Kräfte der globalen Idee unserer hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind weiterhin aktiver, aktiver und Kampfbereiter als früher. Sie kämpfen um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch nicht größer als in der Vergangenheit.

Der menschliche Gegenstand ist aber nicht, den Volkstümern - gegen alle weißen Völker (?) - zu befehlen. Jedes Mittel und jede Methode, Überlebensfähigkeit und Fortschritt zu fördern, ist erlaubt.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob auf Propagandaplattformen, ob auf einem Schiffsfeld oder auf dem Nationalsozialisten ist unser Pflicht!

Hail Hitler!
Gottfried Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています。主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheancient.com/truth.htm)に集中して取り扱っています。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の物語は、まさに情報の堆積層です。一つのことについて情報を集めても、さらにはつづいて調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 179 (177) Founded 1973 April 26, 2022 (100)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware Europeans and racial kinemen fight side by side for the preservation of the White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind - every National Socialist must do his duty!

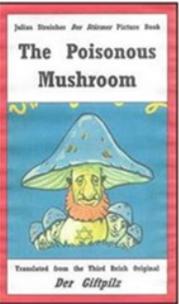
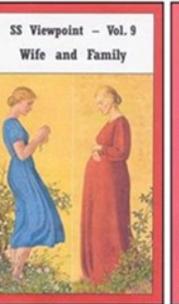
Hail Hitler!
Gottfried Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichführer SS Heinrich Himmler</p>  <p>Translated from the SS Original</p>	<p>Julius Streicher der Führer Führer Book</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reinhold Bollmann</p> <p>Hitler in Italy</p>  <p>English / German Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint - Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im Bild</p>  <p>English - German / Deutsch - English</p>
---	---	--	---	--	--

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to
find out how
YOU can help!